

福祉だより ぎふ

体験!発見!ふくしの世界 ～福祉の職場体験バスツアーを実施～



令和8年7月、岐阜県福祉人材総合支援センターによる「福祉の職場体験バスツアー」に参加した県内の小・中学生およびその保護者が、福祉の職場を訪見し、見学や体験を行いました。(P2・3に関連記事)

CONTENTS



- 体験!発見!ふくしの世界
～福祉の職場体験バスツアーを開催しました～ …… P2・3
- ふれあいが育む地域の絆
～岐阜市城西区民生委員・児童委員協議会～ …… P4
- 『福祉のまちづくりフォーラム2026』開催のお知らせ …… P5
- 寄贈お礼 …… P5
- 「岐阜福祉の杜」開催案内 …… P6
- 岐阜福祉の杜オンラインおすすめ商品紹介 …… P6
- 連載 岐阜県社会福祉協議会の紹介 …… P7
- 10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります …… P8

体験！発見！ふくしの世界

福祉の職場体験バスツアーを 開催しました

岐阜県、岐阜県社会福祉協議会（岐阜県福祉人材総合支援センター）では、県内の小・中学生及びその保護者を対象に福祉の職場を訪れ、見学・体験を行う「福祉の職場体験バスツアー」を毎年実施しています。

今年度は、計127名の親子が参加し、学校では教えてもらえないリアルな福祉の仕事について学びました。将来の職業選択の一つとして考えるきっかけとなることを期待しています。

今年の「福祉の職場体験バスツアー」は、全5コースを設定し、各コース4時間の体験プログラムで実施しました。

小中学生は楽しく体験しながら、介護施設の役割や仕事内容、その魅力を学び、介護機器などにも触れました。



施設では「お年寄りとは人として尊ばれる」という理念のもと、職員はチームで協力し合い、利用者に寄り添い生活を支えています。

広い施設内を見学しながら、途中各部門の専門職員より説明を受け介護体験をしました。福祉車両に車いすで乗車する体験では、小中学生が職員付き添いのもと、昇降リフトを使用するための乗車やリフトの操作を行いました。また、介護施設で行うリハビリの説明を

体験施設
特別養護老人ホーム
せせらぎ緑風苑（郡上市）

聞き、機器の体験をしました。

レクリエーション体験では、利用者と小中学生が交互に座り、ヘルメットとピコピコハンマーを隣の人に送り、ゴールのボールを守るゲームで会場全員が盛り上がり終了しました。

福祉の仕事に関心がある中学生からは、「体験して仕事は大変だけど、職員も利用者も笑顔で嬉しそうだから、将来介護士になりたい」という感想が寄せられました。



体験施設
特別養護老人ホーム
友和苑（大垣市）

施設では、「安心・満足、可能性の追求」を目指し、利用者一人ひとりのことを考え、チームで支えていると説明があり、介護職員をはじめ多職種6名から仕事の内容ややりがいについて聞きました。

施設では、利用者がおいしく食事を楽しめるよう、酵素を使用した軟菜食

を取り入れている説明を聞き、昼食には柔らかい鶏肉の照り焼きなどをいただきました。

車いす介助や、フレックスボードを使用した体験では、利用者も介護職員も負担が少ない移乗について学びました。また、機能訓練士による色読みの脳トレを体験し、参加記念に脳トレニングシートを頂きました。

小学生からは「利用者一人ひとりに合わせ食事や風呂など工夫していることが分かった」などの感想が寄せられ、多職種連携で利用者の生活を支えていることを学べたようです。

体験施設
介護老人保健施設
仙寿なごみ野（岐阜市）

「介護とは」まずは身近なことを親子で考えることから始めました。年配の親から自分の子供へ向けた「手紙」親愛なる子供たちへ（歌：樋口一）の朗読では、年配していく心情が綴られ、

老いることを理解することにも繋がったようです。

施設内見学では、親子で車いす介助をしながらユニツトや浴室、



機能訓練室などを移動しました。

昼食の際には、管理栄養士から「なごみ食（刻まなくても食べられる食事）」や食事介助について説明を聞き、施設で提供される食事をいただきました。

利用者、介護職員共に負担が少ないスライディングボードなどを利用した移乗を全員が順に体験し、ノーリフティングケアの説明に参加者は関心を持った様子でした。

デイケアの利用者とのレクリエーションでは、小学生と利用者のくつした干し競争などを行い、参加者、利用者、職員皆で盛り上がりました。

子どもだけでなく保護者からも、「普段見ることができない施設内の見学や職員の話を聞くことができ、介護の仕事に対する理解が深まった」などの感想が多く寄せられました。



介護職員の約半数が外国人職員である椿野苑では、外国人職員による体験プログラムの進行が行われました。

施設内見学では、寝台型特殊浴槽や移乗用リフトを使用して、入浴介助の実演が行われました。

また、施設で利用している移乗サポートロボットや介護リフトの体験もあり、施設における介護機器導入について紹介しました。

また、管理栄養士による高齢者の嚥

下機能の低下と飲み物にとろみが必要など説明では、イラストを使用した分かりやすい説明を親子で熱心に聞き、実際にとろみ飲み物を作って試飲しました。

介護職員による仕事の紹介では、ミヤンマーやインドネシア出身の介護福祉士の資格を持つ職員が母国の紹介や介護職を目指したきっかけなどを交え、介護の仕事の魅力を紹介してくださいました。



参加した親子からは、「職員の方がいきいきと仕事をしていて素敵でした」、「みんなが笑顔で素敵でした」などの感想が寄せられ、職員の笑顔や働く姿が印象に残ったようです。



「介護とはどんなことでしょう」参加者に問いかけながら施設概要の説明

から始まり、施設内の見学へ向かいました。売店や居室、リハビリ設備などを見学し、デイケアルームでは食事前に口腔体操を行ったり理学療法士によるリハビリを行う利用者の様子など施設の日常を見学しました。



午後からは、施設の「探検をしましょう」と、3つのミッションを与えられた小中学生は、スロープでの車いす介助や福祉車両への乗車、利用者とのレクリエーションを体験しました。

また、職員の勉強会に参加し、おむつについてサイズの選び方や当て方を親子で学びました。

介護職員による講話では、「介護は利用者の夢をかなえることも大切な仕事です」と経験談を交え、分かりやすく仕事の魅力などを熱く語られました。中学生からは「介護職員さんによる介護の魅力の話が心に残りました」と

の感想もあり、職員の思いが伝わったようです。

★バスツアーを終えて

各施設での体験プログラムは親子で楽しく体験しながら、介護の仕事がわかりやすく伝わるよう工夫され、すべてのコースの参加者から、体験を通して「介護の仕事は、やりがいがある仕事だと感じた」、「介護の仕事について理解が深まった」、「介護の仕事のイメージがよくなった」との感想が多く寄せられました。また、施設で働く職員の方たちのいきいきとやりがいを持って働く姿や、職員と利用者の笑顔が印象に残ったようです。

11月14日(土)には、カラフルタウン岐阜で「福祉のお仕事体験フェスタふくしワールド」を開催します。詳細はイベント特設Webサイトをご覧ください。(10月中旬公開)



福祉のお仕事
魅力発信イベント
特設サイト



岐阜県福祉人材
総合支援センター
ホームページ

ふれあいが育む地域の絆

岐州市城西地区民生委員・児童委員協議会

岐州市民生委員・児童委員協議会は50の単位民児協で構成されています。今回はそのうちの1地区、城西地区民児協の活動をご紹介します。

城西地区民児協について

城西地区は、近隣地域に医療機関や商業施設が充実しており、買い物や通院にも便利な環境が整っています。また、閑静な住宅地として知られ、地域のつながりを大切にする温かな風土が残っています。

城西地区民児協は、人口約七六〇〇人、約三六〇〇世帯住民を対象に、民生委員・児童委員15名と主任児童委員2名で活動しています。近年は核家族化や高齢化の進行により、ひとり暮らし高齢者が増加しており、地域福祉の重要性が高まっています。

日々の活動について

日々の活動として、消防署の協力を得て高齢者世帯への防火指導を行うほか、「愛の一声運動」による見守り活動、安否確認サービス、緊急通報システムの普及啓発に努めています。また、特殊詐欺や熱中症への注意喚起、世帯状況の確認調査、生活保護や福祉資金に関する相談支援、赤い羽根共同募金への協力など、地域福祉の推進に幅広く携わっています。

主任児童委員は、近隣地域4地区合同による「赤ちゃんクラブ」の運営があり、子育て家庭

の交流や相談の場づくりに取り組んでいます。また、活動の様子をインスタグラムで発信し、より多くの子育て世代に活動を知っていただけるよう努めています。

また毎月1回定例会を開催し、地域で抱えるさまざまな課題や事例について話し合っています。必要に応じて専門家を招き、問題解決に向けた助言を受けるなど、より良い支援につなげています。

協力と連携で広がる ふれあいの輪

社会福祉協議会と協力して実施している事業の一つに、「ひとり暮らし高齢者の集い」があります。この事業は毎年春と秋の2回開催され、多い時には100名を超える高齢者の皆さんが参加されています。

当日は、福祉の専門家による健康や介護に関する講話のほか、地域で活躍する方々によ



ふれあいいきいきサロン (R7.5 城西公民館)

る歌や話芸などの催しが行われ、参加者同士が交流を深める貴重な機会となっています。参加者からは、「久しぶりにたくさんの人と話ができて元気をもらえた」「また次回も参加したい」といった声が寄せられており、ひとり暮らしの高齢者にとって、外出のきっかけとなるだけでなく、地域とのつながりを感じられる大切な場となっています。

また、年間を通じて開催される「ふれあい・いきいきサロン」や「介護予防教室」では、脳トレやレクリエーション、健康づくり活動などを実施しています。参加者からは、「仲間と一緒に活動するのが楽しみなった」「以前より体を動かす機会が増えた」といった感想も聞かれ、生きがいづくりやフレイル予防、健康維持に繋がっていると感じます。

城西地区民児協では、今後も地域の皆さまが安心して暮らせるまちづくりを目指し、関係団体との連携を深めながら、より充実した福祉活動に努めてまいります。



ひとり暮らし高齢者の集い (R7.6 城西公民館)

『福祉のまちづくりフォーラム2026』開催のお知らせ

日時

令和8年
10月14日(水)
13:30
～16:30

本フォーラムでは、障がい者・障がい児、当事者家族、まちの人々のかかわりから、誰もが自然に支え合い、ともに暮らし続けられるまちづくりについて考えます。

テーマ 支える・支えられる、かべはない。ともに暮らし、ともに歩むまちへ
～一人ひとりの歩みと、家族・まちのつながりから考える、
誰もが自分らしく暮らせるまちづくり～

日時 令和8年10月14日(水) 13:30～16:30 (Zoom入室 13:10～13:25)

会場 Zoomを使用したオンライン形式

参加対象 社協役職員、福祉に関する団体、福祉活動に関心のある方

参加費 無 料 ※回線数に限りがあるため、可能な範囲でパブリックビューイング等にご協力ください。

内容 実践レポート① 「障がい児・家族と地域がつながる、安心なまち」

株式会社 プラウドネットワーク 代表 今村 しのぶ 氏

実践レポート② 「つながりが根づく、羽島のまち」

社会福祉法人 岐阜羽島ボランティア協会 理事長 川合 宗次 氏

講演 「支える・支えられる、かべはない。ともに暮らし、ともに歩むまちへ」

中部学院大学 人間福祉学科 准教授 兼松 博之 氏

参加申込

下記URLまたは二次元コードより、10月2日(金)までにお申し込みください。

⇒【申込フォーム】

<https://forms.gle/U8ZTHsDEEdjePXLE8>



手話通訳・要約筆記を行います。

お問い合わせ先

岐阜県社会福祉協議会 総務企画部 地域福祉・ボランティア担当 TEL 058-201-1546

ありがとうございました！

岐阜信用金庫様より寄贈

去る8月7日、岐阜信用金庫（好岡政宏理事長）様より使用済み切手、ベルマーク等を寄贈いただきました。

寄贈品は県内のボランティア活動の振興に有効に活用させていただきます。



▲ 岐阜信用金庫 地方創生部 部長 大野 孝一 様（写真右）から使用済み切手等の寄贈を受け取る県社協村田常務理事＝岐阜県福祉会館

～障がい者就労支援事業所 商品展示販売会～ 「岐阜福祉の杜」 開催案内

ご好評を頂いております障がい者就労支援事業所商品展示販売会「岐阜福祉の杜」について、今後の開催予定は、以下の通りです。(令和8年度：全9回開催予定)

岐阜県内の障がい者就労支援事業所で作られる食品や雑貨、日用品などを取り揃えております。皆様のお越しをお待ちしております。

第5回

日時

令和8年10月15日(木)
～10月19日(月)

10:00～17:00
(最終日のみ10:00～16:30)

会場 — アクティブG
2階 ふれあい広場



▲ 昨年度開催した福祉の杜 in
アクティブG 2階ふれあい広場の販売スペース

お問い合わせ先

岐阜県社会福祉協議会 施設人材部(担当 安田)

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 TEL 058-201-1561



事業所紹介



そのお仕事の一つとして布小物を作って販売しています。裏地や触感にもこだわり、一つ一つ丁寧に作りました。手に取るとほっこり笑顔になる商品です。そんなほっこりかわいい小物屋さんをのぞいてみてください。

おひさまの商品で皆様の日常に、ちょっとした喜びをプラスすることができれば幸いです。

おひさま <https://ohisama-6.jimdosite.com>

岐阜市茜部新所1丁目105-1 TEL: 058-214-8325 FAX: 058-214-8326

おすすめ商品紹介

畳のへりを使ったカード入れです。フック付きなので取付けでき便利です。

畳のへりならではの軽さと丈夫さに、色や柄の楽しさをプラスして、毎日持ち歩きたくなる小物に大変身♪ポイントカードやショップカードなどを入れてバッグの中をすっきり整理できます。自分用にはもちろん、お友達やご家族へのちょっとしたプレゼントにもおすすめです。お気に入りの一点を見つけて、毎日のバッグにかわいく仲間入りさせてください♡



畳のへりのカード入れ
3個セットA緑・青・黒
販売価格 550円
(税込・送料込)

■サイズ 約タテ9cm×ヨコ8cm

岐阜福祉の杜オンラインショップ



URL入力の場合は
<https://gifu-fukushinomori.com>

「岐阜福祉の杜オンライン」内に外注委託業務紹介ページを開設しています!

<https://gifu-fukushinomori.com/bpo/list>

お仕事の
依頼は
こちらから



第2回

岐阜県社会福祉協議会

って何をしてるの?

どんな人が働いてるの??

実際に働いている職員へのインタビューを通して、県社協の仕事内容をお伝えするにんっ!

今回は“**総務企画部 地域福祉・ボランティア担当**”を紹介するにん!

どんなチームだにん?

5名の職員が在籍しています。

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指して、地域住民による支え合い活動やボランティア・市民活動の普及・啓発のための会議・研修の開催や活動支援のための助成事業など、市町村社会福祉協議会と連携・協働しながら取り組んでいます。また、近年頻発化する災害発生に備え、様々な体制整備にも取り組んでいます。地域での活動やボランティアに関することなど、お気軽にご相談ください。

セミナーや研修等で参加者から「参加してよかった」「これからの活動に活かせる」等のお声をもらった時です。

やりがいを見せてほしいにんっ

主にどんな業務をしてるにん?

ともい
福祉共育の推進や災害時における被災者支援体制の整備、企業等における社会貢献活動の推進・支援を行っています。

セミナーとか研修はどれくらい前から準備してるにん?

地域づくりやボランティア活動に関するセミナーや研修等の企画運営、相談対応なども行っています。

どんな内容にするか、前年度のうちにしっかりと企画を練ります。講師の依頼や会場手配などの準備は、数か月前から始めています。

逆に大変なことを教えてほしいにん

セミナーや研修等の企画を考える時です。決まったやり方があるわけではないので、参加者にとって本当に役立つ内容になるのかを考えることに難しさを感じています。

総務企画部、地域福祉・ボランティア担当としての目玉事業を教えてくださいにん

『福祉のまちづくりフォーラム (10/14開催)』と『ボランティア・市民活動フォーラム (11/6開催)』です。

地域で活動されている方を対象としたフォーラムで、毎年この時期に開催しています。

今回の福祉のまちづくりフォーラムは、「障がい」をテーマに、ともに暮らし続けられるまちづくりについて考えます。ボランティア・市民活動のフォーラムは、ボランティアのみなさんが楽しく活動を続けていただくための今後の取り組みのヒントが得られる機会です。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。



▲市町村社協新任職員研修なども企画、開催しました。

次回は生活支援部 生活支援担当にインタビューしにいくにん!
掲載は11月で少し期間は空くけど、楽しみに待ってほしいにん!!



令和8年度共同募金運動要綱策定

10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります

社会福祉法第119条の規定に基づき、今年度の共同募金の目標額、受配者の範囲及び配分の方法を理事会・評議員会において決定いたしました。

昭和22年に始めました共同募金運動は、今年80回目を迎え、次の運動要綱により10月1日から実施いたします。今年も赤い羽根共同募金運動に皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

令和8年度共同募金運動要綱

1. 目的

共同募金運動は、住民相互のたすけあいに支えられ80回目を迎えました。

少子高齢化及び人口減少の進行、地域社会のつながりの希薄化、物価高騰等により、地域福祉を取り巻く課題は一層複雑化・多様化しています。その一方で、ボランティア活動、市民活動及び企業等による社会貢献活動など、地域課題の解決に向けた主体的な取組も広がっています。

このような状況のなか、共同募金運動は、住民相互のたすけあいを基調として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりを目指し、多様な地域福祉活動を財源面から支える重要な役割を担っています。

共同募金会は、共同募金が県民共有の財産であるとの認識のもと、寄付者の意思を尊重するとともに、透明性及び信頼性の高い運営に努め、地域住民、企業及び関係団体との連携を深めながら、たすけあいの心を育む共同募金運動を積極的に推進します。



2. 全国共通シンボル 赤い羽根

3. 募 金 目 標 額 334,200,000円 (1) 赤い羽根募金 266,843,000円
(2) 歳末たすけあい募金 67,357,000円

4. 募 金 期 間 令和8年10月1日～令和9年3月31日

ただし、市町村支会・分会・共同募金委員会の募金運動期間は、令和8年12月31日までの3か月間とし、岐阜県共同募金会本部での広報活動を兼ねたイベント募金などは翌年の3月31日までとする。

「赤い羽根マスキングテープ」ができました!

今年度、共同募金運動は80回目の節目を迎えます。

岐阜県共同募金会では、募金額が減少傾向にあるなか、共同募金をより幅広い層に訴求し、さらなる募金運動の活性化につなげていくため、新たな運動資材として「赤い羽根マスキングテープ」を作製いたしました。

一定額以上の寄付をいただいた方へのお礼としてお渡しする「グッズ募金」などで活用する計画をしております。

皆さまのご協力をお願いいたします。



<岐阜県共同募金会 TEL (058) 201-1591>

*本誌に対してのご意見、ご要望等ございましたら、下記までお寄せください。

発行所 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

TEL (058) 201-1545 FAX (058) 275-4858 ホームページアドレス <https://www.winc.or.jp/> 購読料30円は会費に含む 毎月1回・15日発行